



基本操作講習会 活用編：権限管理

Rev.1.6.0 2023.10.10

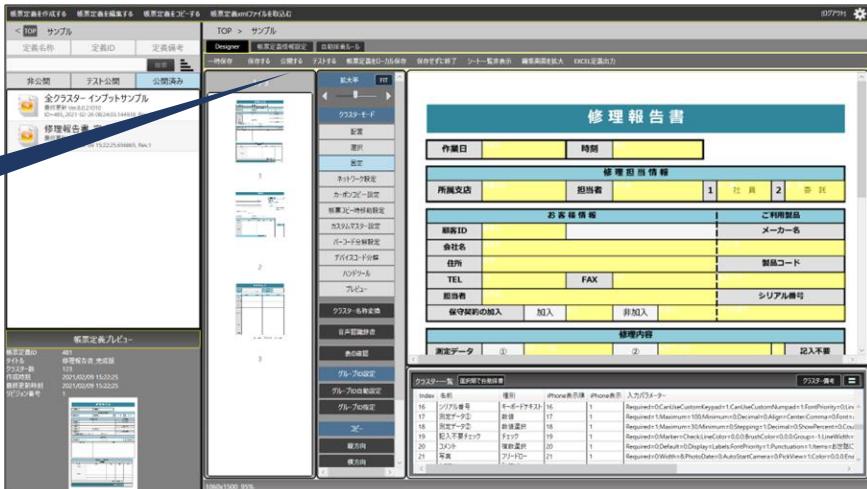
権限管理の概要

「権限管理」その1 管理的な要素の操作権限

「ConMas Managerの各メニュー」「ユーザーや端末の作成/登録」等の「管理的な要素の操作」や「帳票定義の新規作成」を、特定のユーザーに限定する設定が可能です。



各メニュー毎について、
どのような操作ができるか



帳票定義の新規作成を、特定
ユーザーのみ可能にする

「権限管理」その2 帳票定義/入力帳票を組織に紐づける

特定の帳票定義/入力帳票と、これを使用する部門とを「紐づけ」することで、管理します。更に、個々のクラスターに「入力可」「参照のみ可」「どちらも不可」の設定ができます。

帳票定義/入力帳票「α（アルファ）」

The screenshot shows a repair report form with various fields like '作業日' (Work Date), '修理担当者' (Repair Person), and '修理費用' (Repair Cost). A blue double-headed arrow labeled '紐づけ' (Bind) connects the form to a box labeled '部門A' (Department A) containing a factory icon and two user icons. A callout box states: 'αの操作ができるのは 部門Aのみ' (Only Department A can operate α).

帳票定義/入力帳票の「β（ベータ）」

The screenshot shows a non-conformity report form with fields like '不具合No.' (Non-conformity No.), '製造工場' (Manufacturing Plant), and '部品名' (Part Name). A blue double-headed arrow labeled '紐づけ' (Bind) connects the form to a box labeled '部門B' (Department B) containing a building icon and two user icons. A callout box states: 'βの操作ができるのは 部門Bのみ' (Only Department B can operate β).

個々のクラスターへの
操作権限の設定も可能

権限設定を行う際の「考え方」

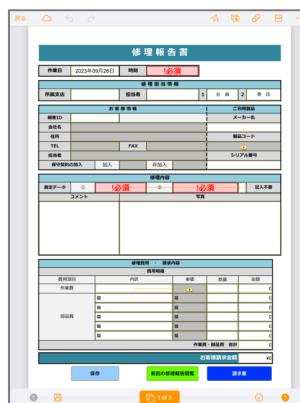
権限を設定した「グループ」に「ログインユーザー」を所属させて管理します

設定のイメージ

ConMas Managerで行う
管理操作



入力帳票の
作成/編集/参照等の操作



部門A

作業グループ



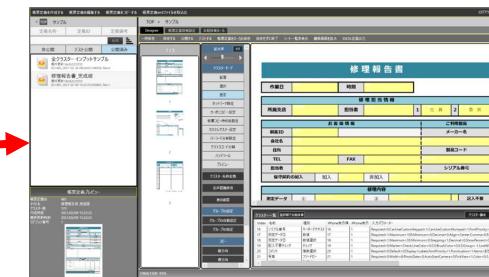
作業者が使用するID : A001

課長グループ



課長が使用するID : A002

帳票定義の新規作成



作業グループに所属するA001のユーザー
⇒ 青色の点線で繋がっている内容の操作ができる
※ 「ConMas Managerの青い点線以外のメニューの
操作」「帳票定義の新規作成」はできない

課長グループに所属するA002のユーザー
⇒ 赤色の点線で繋がっている内容の操作ができる

グループやユーザーの作成方法や権限管理の詳細等は、サポートWeb内のマニュアル検索サイトから、以下の資料をご参照ください
「ConMas Manager ユーザー管理/グループ管理」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/manager/UserManagement_GroupManagement_jp.pdf

「ConMas Manager権限管理」

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/manager/AuthorityManagement_jp.pdf

「管理の要素」を設定したグループの作成や管理

ConMas Managerの「システム管理>グループ管理」画面から作成や確認を行います

新たなグループを作成する際は、画面右上の追加アイコン（+マーク）をクリック

① システム管理権限
② Manager権限
③ API操作権限
④ Designer権限
⑤ デフォルト帳票定義権限*

新たなグループを作成する際は、
画面右上の追加アイコン（+マーク）をクリック

- ① システム管理権限
 - ② Manager権限
 - ③ API操作権限
 - ④ Designer権限
 - ⑤ デフォルト帳票定義権限*

赤枠内（右側も含む）を拡大

* デフォルト帳票定義権限は、帳票定義/入力帳票とグループの紐づけ操作を簡略化できる機能です。

「管理の要素」を設定したグループの作成や管理

「管理の要素」各権限の概要

システム管理権限	全般	以下の全てを実行できる権限
	ユーザー管理	ログインユーザーの参照・作成・編集・削除
	端末管理	i-Reporterアプリ、ConMas Designer端末の登録内容の参照、編集、削除
	システム設定管理	メール通知設定、共通マスター管理
	データー管理	(設定用) データー取り込み、帳票ロック一括削除
Manager権限	帳票定義	帳票定義の参照・編集・削除
	入力帳票	入力帳票の参照・編集・削除・管理
	データー出力	入力帳票データーの出力操作
	自動帳票作成	自動帳票作成の処理
	ラベル管理	ラベルの参照・作成・編集・削除
	図書管理	図書の参照・登録・編集・削除
	スケジュール	スケジュール機能の参照・作成・編集・削除
	カスタムマスター	カスタムマスターの参照・メンテナンス
	カスタムメニュー	カスタムメニューの参照・メンテナンス
	バインダー	バインダー機能の参照・設定・削除
API	ジョブ管理システム等からAPIを利用する権限	
Designer権限	新規作成	帳票定義の新規作成を行い、サーバーに登録できる権限

帳票定義/入力帳票/クラスターの操作を組織と紐づける

■ 帳票定義権限

= 作成した帳票定義を「参照」「編集」「削除」できる権限

■ 入力帳票権限

= 入力帳票を「参照」「作成」「編集」「削除」できる権限

■ クラスター権限

= クラスターの値を「編集可能」「参照のみ」「参照不可」できる権限

グループ単位で
設定

例えばある入力帳票に対して、
グループA：
参照、作成、編集 はできるが、削除はできない
グループB：
参照、作成 はできるが、編集、削除はできない
といった設定が可能

帳票定義/入力帳票の操作権限

個々の帳票定義/入力帳票に対し、グループ毎に設定します

設定画面のイメージ

グループ	定義			帳票				
	参照	編集	削除	参照	作成	編集	削除	
Gr東京支社/Gr部24	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Gr東京支社/Gr部24/Gr課24	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
Gr東京支社/Gr部24/Gr課24/Gr作業24	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						

帳票定義についての設定

- 「参照」 ConMas Manager/ Designerで、該当の帳票定義を参照できる権限
- 「編集」 ConMas Manager/ Designerで、該当の帳票定義を編集できる権限
- 「削除」 ConMas Managerで、該当の帳票定義を削除できる権限

入力帳票についての設定

- 「参照」 i-Reporterアプリ/ConMas Managerで、この帳票定義から作成された入力帳票を参照できる権限
- 「作成」 i-Reporterアプリ/ConMas Managerで、この帳票定義から入力帳票を新規に作成するための権限
- 「編集」 i-Reporterアプリ/ConMas Managerで、この帳票定義から作成された入力帳票を編集できる権限
- 「削除」 ConMas Managerで、この帳票定義から作成された入力帳票を削除できる権限

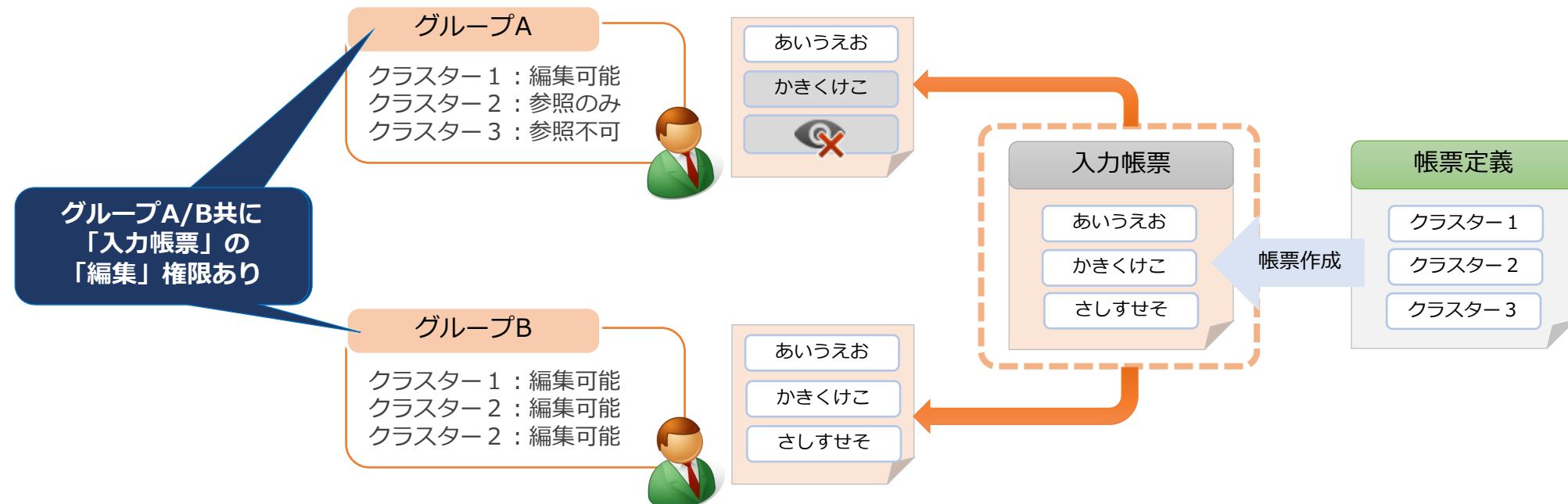
クラスター権限

クラスターごとに、グループ単位で、次のような権限が設定できます

編集可能 : 値を入力でき、入力されている値を確認できる

参照のみ : 値の入力はできないが、既に入力されている値は確認できる

参照不可 : 値の入力、既に入力されている値の確認のいずれも、操作できない



ハンズオン

ハンズオン：承認フローを作る

■ 概要

- 帳票定義/入力帳票と組織との「紐づけ」のしかたを、ハンズオンで操作しながら確認します。
- また、クラスター毎の操作権限の設定方法も確認します。
- 「申請」「承認」の動作を、「作業者」「課長」「部長」それぞれの立場で操作すると想定した設定内容です。
 - = 作業者は課長に申請
 - = 課長は承認後、部長に申請
 - = 部長は承認

の操作を行います。作業者と課長はi-Reporterアプリから、部長はConMas Managerから操作します。

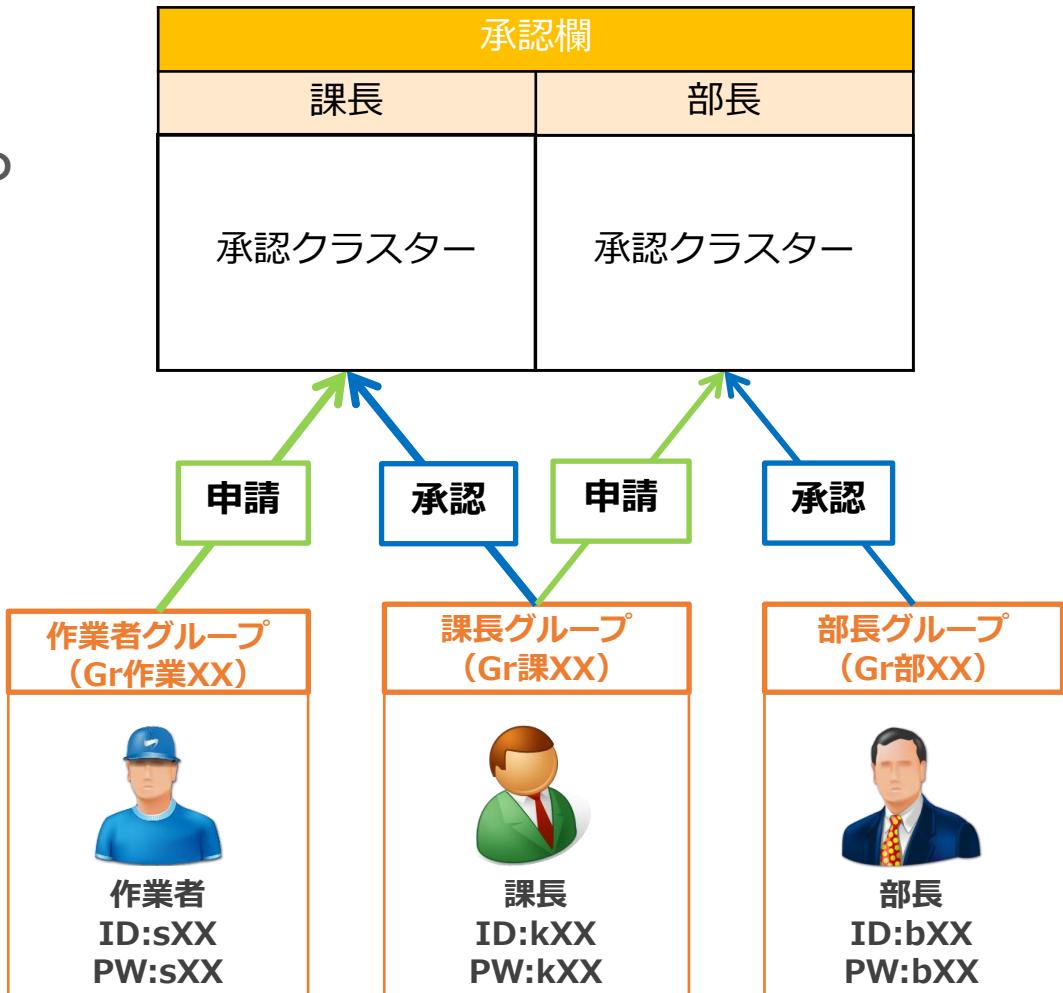
■ 準備

- 帳票定義の確認と設定（公開で登録済です）
- グループ/ユーザーの確認と、一部設定（既に設定済です）
なお「部長グループ」はConMas Managerで承認できるよう、「Manager権限」の入力帳票>管理権限を割り当てます
- ①（帳票定義）と②（権限設定されたグループ）を紐づけます
- クラスター毎に、各グループの操作権限を付与します

■ 使用する帳票定義

- 権限管理_承認フロー設定_XX （講習会サーバー内）

帳票定義名称：権限管理_承認フロー設定_XX



ハンズオン：設定内容（その1）

① 帳票定義（ConMas Serverに公開保存済）

- ・ 帳票定義名称は「権限管理演習_承認フロー設定_XX（XXはログイン時に使用する番号）」です
- ・ 帳票定義には、以下の内容が設定済です
 - クラスターのパラメーター設定（課長の承認クラスター、部長の承認クラスター共通）
「制約」→「必須入力」
「サイン種別」→「サイン」
「申請後の保存確認」→チェックなし ⇒ **こちらはチェックを入れてください。**
「申請時の必須入力チェック」→チェックなし
 - ネットワーク設定
「ネットワーク設定」→課長の承認クラスターと部長の承認クラスター間
「ネットワーク制限設定」
→「先行クラスター未入力時の後続クラスターの入力制御」は「入力不可」（=課長承認後、部長の承認が可能に）
→「タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示」は「する」

② グループ/ユーザー

- ・ 部長/課長/作業者の3グループと、配下にユーザーアカウントを1IDずつ、ログイン時に使用する番号ごとに設定済です
 - 部長用グループ：グループ名は「Gr部XX」、ユーザーID及びパスワードは共に「bXX」
 - 課長用グループ：グループ名は「Gr課XX」、ユーザーID及びパスワードは共に「kXX」
 - 作業者用グループ：グループ名は「Gr作業XX」、ユーザーID及びパスワードは共に「sXX」
※「XX」はユーザーID番号です
- ・ 各グループには権限設定を行っていませんが、部長用グループに「ConMas Managerで承認操作が行える設定」を追加します
※ ConMas Managerのシステム管理>グループ管理から部長用グループの情報参照画面を開き、「Manager権限」>「入力帳票」の配下にある「管理」にチェックを入れます

ハンズオン：設定内容（その2）

③ 帳票定義/入力帳票権限の設定

- ConMas Managerの「帳票権限」メニューから該当の帳票定義の詳細画面を開きます
- 画面左のサブメニューにある「権限」配下の「定義/帳票」を開きます
- 新たに「部長グループ」「課長グループ」「作業者グループ」がこの帳票定義/入力帳票への操作を行えるように、編集画面を開いて グループを追加します
- 追加するグループを検索して絞り込み、チェックボックスにチェックを入れ保存します
ハンズオン時には、帳票定義/入力帳票共に全てすべての操作権限にチェックを入れ、その内容を保存します

④ クラスター毎の操作権限の設定

- ConMas Managerで、それぞれの承認クラスターにグループごとの操作権限設定を行います
「権限管理」メニューからサブメニュー内の「権限」>「クラスター」配下にある「Sheet1」をクリックします
画面下の「クラスター権限」にある各々のクラスターに設定を行います
 - 「クラスター0（課長の承認クラスター）」に行う設定
 - 作業者グループは申請操作が行えるように、「参照可能グループ」に属する (=開いた画面のまま移動しない)
 - 課長グループは承認操作が行えるように、「編集可能グループ」に追加
 - 部長グループは承認操作が行える（代理承認を可能にする想定）ように、「参照可能グループ」に追加
 - 「クラスター1（部長の承認クラスター）」に行う設定
 - 作業者グループはこのクラスターに対する操作ができないように、「参照不可グループ」に追加
 - 課長グループは申請操作が行えるように、「参照可能グループ」に属する (=開いた画面のまま移動しない)
 - 部長グループは承認操作が行えるように、「編集可能グループ」に追加

⑤ 入力操作（20ページ以降ご参照）

- 作業者、課長、部長それぞれのログインID/パスワードを使って、入力操作を行います
- 作業者と課長はi-Reporterアプリから、部長はConMas Managerから操作します

【参考】帳票定義/入力帳票の操作権限設定画面

ConMas Managerの「帳票定義」メニューで、該当の帳票定義を選び設定します

The image shows three screenshots of the ConMas Manager application interface:

- Screenshot 1:** Shows the main menu bar with "帳票定義" selected. A callout points to the "帳票定義" tab with the text "① 設定する帳票定義をクリック". An orange arrow points from the "権限管理_承認フロー設定_01" row in the list to the callout.
- Screenshot 2:** Shows the "権限管理_承認フロー設定_01" document definition details page. A callout points to the "権限" section with the text "② 「権限」の「定義/帳票」をクリック". An orange arrow points from the "定義 / 帳票" item in the tree view to the callout.
- Screenshot 3:** Shows the "権限の選択 / 解除" (Select/Release Permissions) dialog. A callout points to the search bar with the text "③ 編集ボタンをクリックし設定画面に切り替え". An orange arrow points from the "検索" (Search) button to the callout. Another callout points to the "グループ名称" (Group Name) input field with the text "④ グループ名称を絞り込んで表示することもできます". An orange arrow points from the "検索" button to the "グループ名称" input field.

【参考】クラスター権限の設定画面①

ConMas Managerの「帳票定義」メニューから行います

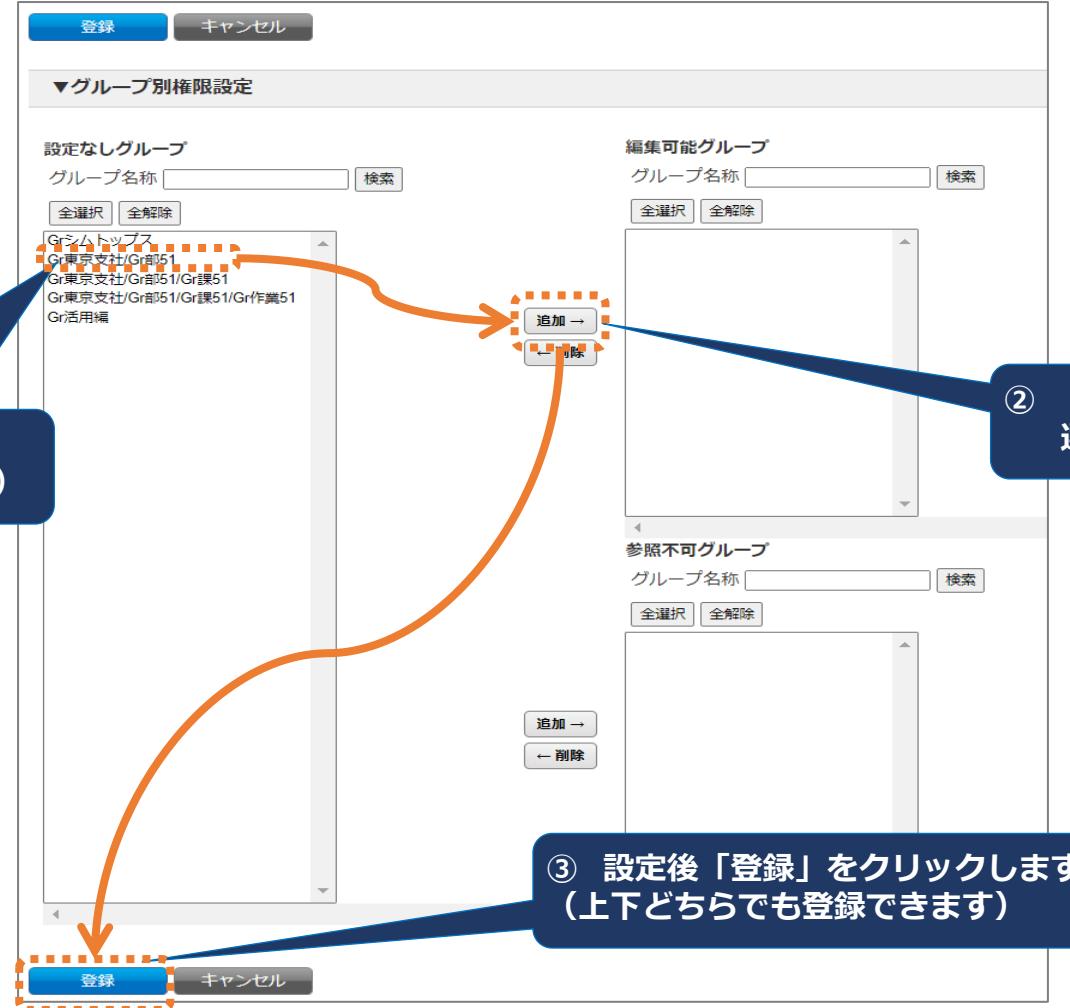
The screenshot illustrates the process of setting cluster permissions in ConMas Manager across three windows:

- Top Window:** Shows the main menu with "帳票定義" selected. A callout points to the "帳票定義" tab with the instruction: ① 設定する帳票定義をクリック (Click the definition you want to set). The "権限管理_承認フロー設定_01" entry in the list is highlighted.
- Middle Window:** Displays the details for the selected definition. A callout points to the "1:ハンズオンサンプル" entry under the "クラスター" section with the instruction: ② 「権限」配下の「クラスター」下にある該当のシート名称をクリック (Click the sheet name under the 'Cluster' section in the 'Permissions' section). The "権限管理_承認フロー設定_01" sheet is shown.
- Bottom Window:** Shows the "▼クラスター権限" (Cluster Permissions) settings page. A callout points to the "編集可能" (Editible) checkbox for cluster 0 and the edit button for cluster 1 with the instruction: ③ 切り替わった画面下部にある「クラスター権限」で権限設定を行うクラスターのチェックボックスにチェックを入れ、画面右側の編集ボタンをクリックして設定画面を開く (同時に複数のクラスターへの設定も可能) (Check the checkbox for the cluster where permission settings are being made, click the edit button on the right side to open the setting screen (multiple clusters can be set at once)). The table shows two clusters: Cluster 0 (課長) and Cluster 1 (部長), both set to "Approve".

No.	クラスター名	タイプ	編集可能	参照不可	参照不可
0	課長	Approve	権限設定なし	参照不可	参照不可
1	部長	Approve	権限設定なし	参照不可	参照不可

【参考】クラスター権限の設定画面②

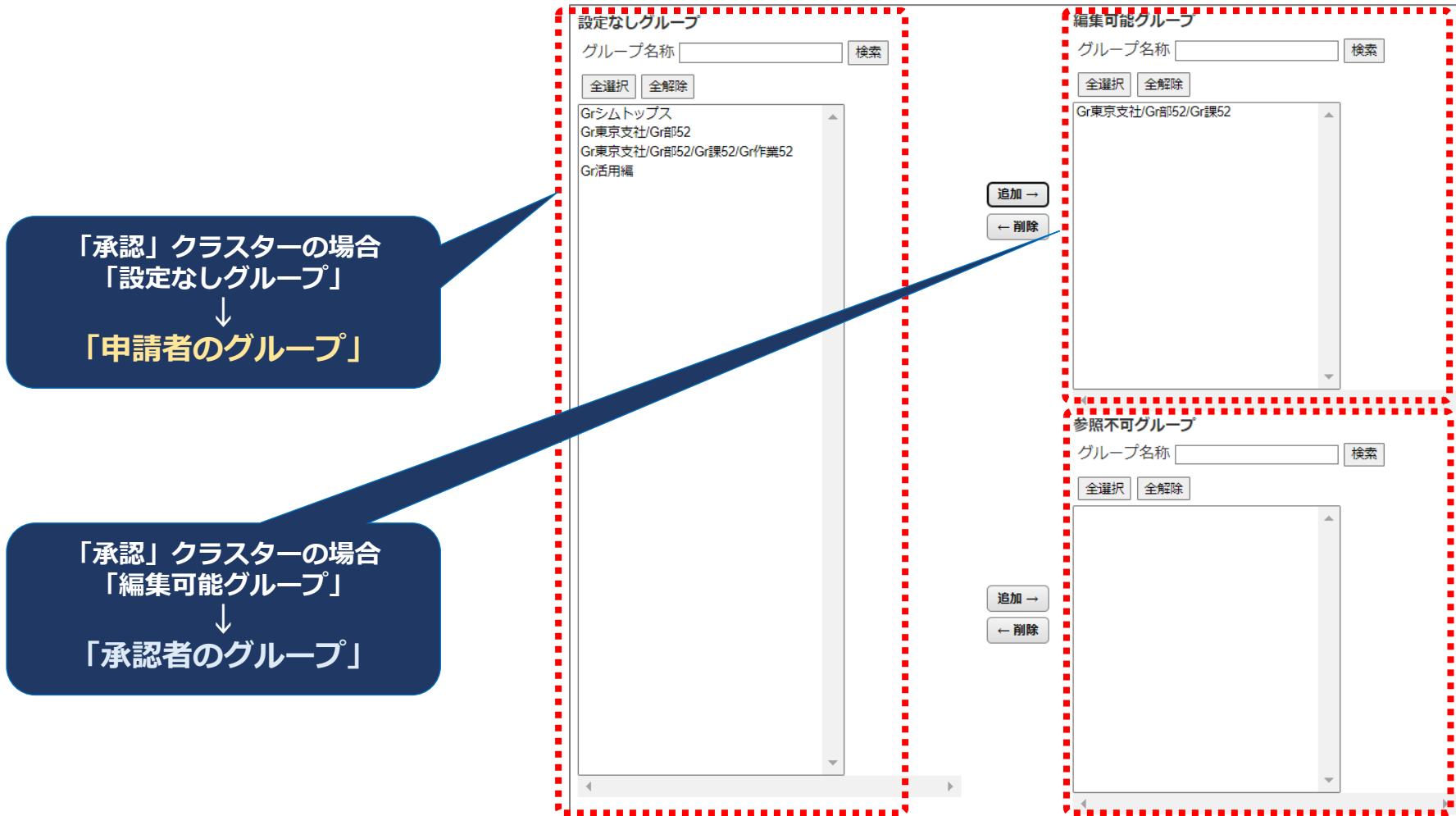
「編集可能」 「設定なし*」 「参照不可」 のいずれかに、該当するグループを追加する設定を行います



- * 「設定なしグループ」は
 - 「グループ別権限設定」を行っていない場合、表示の全グループが「編集可能」として扱われます。
 - 「グループ別権限設定」を行った場合、表示の全グループは「参照のみ可」として扱われます。

【参考】「承認」クラスターの場合の設定

グループの配置を変更すると、「設定なしグループ」に所属するグループは「申請者」、
「編集可能グループ」に所属するグループは「承認者」として操作できます



【参考】クラスター権限の設定内容の確認

「編集可能」 「参照のみ」 「参照不可」 に分かれます

No.	クラスター名	タイプ	グループ
0	クラスター0	Date	編集可能 36 : 作業者グループA 38 : 作業者グループB 28 : 承認グループ 37 : 管理者グループ
1	クラスター1	Select	参照のみ 36 : 作業者グループA 38 : 作業者グループB 28 : 承認グループ 37 : 管理者グループ
2	クラスター2	QRCode	参照不可 36 : 作業者グループA 38 : 作業者グループB 28 : 承認グループ 37 : 管理者グループ

【編集可能】

対象となるクラスターの編集と閲覧が可能な権限を持つグループ。

※ 承認クラスターの場合「承認するグループ」

【参照のみ】

対象のクラスターは、参照のみ可能（編集は不可）なグループ。

※ 承認クラスターの場合「申請するグループ」

【参照不可】

対象のクラスターの操作権限（編集・閲覧共に）がないグループ。

※ 承認クラスターの場合「申請承認いずれも行わないグループ」

【参考】ハンズオン時の、i-Reporterアプリの画面操作①

ご参考：i-Reporterアプリの操作

■ 「作業者」として行う操作ログインで使用するID/パスワード

1) ログインID/パスワード

いずれも「**sXX**」の3文字を入力します

※ 「XX」はログインで使用する2桁の数字です
(例) 「op01」の場合は「s01」

2) 入力帳票の開き方

- 新規作成>活用編>権限管理ハンズオン、の順にタップ
- プレビュー下の「この定義から帳票を作成する」をタップ

3) 申請

- 「課長」の承認クラスターをタップ
- 「承認申請」のダイアログが表示されるので、画面下の「承認申請」をタップ

4) 保存

- 表示される「保存確認メッセージ」のダイアログで、
iPad/iPhone : 「サーバーへ保存し編集終了」
Windows : 「サーバーに保存」
をタップして保存

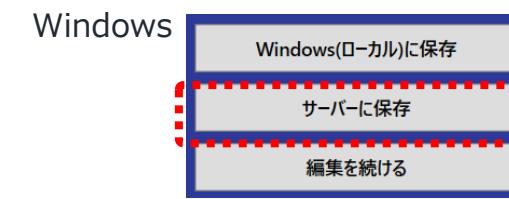
入力帳票の開き方



申請ダイアログ



保存の方法



【参考】ハンズオン時の、i-Reporterアプリの画面操作②

■ 「課長」として行う操作ログインで使用するID/パスワード

1) ログインID/パスワード

いずれも「kXX」の3文字を入力します

(例) 「op01」の場合は「k01」

2) 入力帳票の開き方

- ホーム（Windowsの場合はサーバー）画面にあるメニューの「あなたの承認待ち」をタップ
- 「権限管理_承認フロー設定XX」の入力帳票をタップ
- プレビュー下の「この定義を編集する」をタップ

3) 承認情報の登録

- 「課長」のクラスターをタップ
- 「承認待ち」ダイアログ下の「タップして署名」をタップ
- サイン欄にサインを手書き（Windowsはマウスでなぞる）で入力後、右下の「完了」をタップ
- 「承認待ち」ダイアログ下の「承認」をタップ

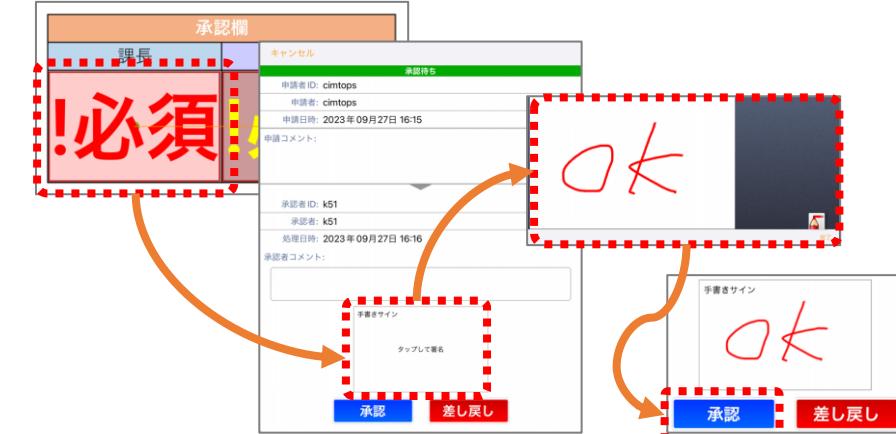
4) 部長への申請～保存

- 前ページの作業者の操作と同じ

入力帳票の開き方



承認情報の登録



【参考】ハンズオン時の、i-Reporterアプリの画面操作③

■ 「部長」として行う操作ログインで使用するID/パスワード

- 1) 部長のログインは、ConMas Managerで行います
入力するID/パスワードは、いずれも「**bXX**」の3文字です
(例) 「op01」の場合は「b01」
ConMas Manager画面右上の「ログアウト」をクリックすると
ログイン画面に切り替わります

- 2) 承認手順
 - ・ ログイン後の画面で、帳票名称をクリック
 - ・ 「基本情報」画面下部の「承認状況」にある、クラスター名「部長」の行内「承認」をクリック
 - ・ 確認メッセージの「OK」をクリック

ConMas Managerのログアウト操作

ConMas Manager

ログイン中 : op24 [ログアウト]
Version:8.1.22120

承認手順

ConMas Manager

入力帳票	スケジュール
ラベル検索:	検索
1-37/1(37)	b51さん担当分
< < > >	公開
すべて閉じる すべて開く	
すべて	ID
ラベルなし	帳票名称
	元ID
	REV
	状態
143	権限管理_承認フロー設定_51
143	1
	承認待ち

▼承認状況						
帳票内ページ番号	クラスタ-ID	クラスター名	状況	申請日	申請者	承認日
1	0	課長	<input checked="" type="checkbox"/> 入力完了			
1	1	部長	<input checked="" type="checkbox"/> 承認待ち			

sales.conmas-i-reporter.com の内容
承認します。よろしいですか？

権限設定の応用例

帳票定義・入力帳票への権限設定の応用例

デフォルト帳票定義権限を使って、帳票定義や入力帳票とグループとの紐づけを「自動化」することができます。その際に付与する権限の範囲を、帳票定義や入力帳票を新規登録したグループが所属するパス（レポートライン）内に限定する、等の設定も可能です。

【応用例①】

デフォルト帳票定義権限

- あらかじめグループに帳票定義/入力帳票の操作権限を設定することで、帳票定義が新規登録されると自動で「紐づけ」を行うことができます。

【応用例②】

グループ間の「パス（レポートライン）」を設定した場合に、そのパス内にのみデフォルト帳票定義権限を反映させる設定

- 上記の応用例①について、帳票定義/入力帳票とグループの紐づけを、帳票定義を新規に登録したグループの「グループ内のみ」「グループ同士で設定したパスの上位グループのみ」「パスの上位下位両グループのみ」に限定する事ができます。

【応用例③】

レポートライン外だが、該当の帳票定義または入力帳票への操作を行いたいグループに紐づけを行う設定

- 「常に権限をつける」設定ができます。

応用例①：デフォルト帳票定義権限を使った設定

帳票定義の新規登録時に、組織との紐づけを自動で行う機能

ハンズオン内でご案内した「帳票定義/入力帳票に対して、使用するグループを紐づける」設定方法の他に、あらかじめグループ「デフォルト帳票定義権限」の設定を行うことで、帳票定義の新規登録時に、グループの紐づけや帳票定義/入力帳票の各操作権限が**自動で付与されます**。

帳票定義の新規登録が頻繁に行われる場合、この機能を使う事で設定の抜け漏れを防ぐことができます

The diagram illustrates the workflow for managing account definition permissions:

- Top Interface:** Shows the system management interface with various modules like User Management, Role Management, System Setting Management, and Data Management. A red dashed box highlights the 'Default Account Definition Permission' section under the Data Management tab.
- Middle Interface:** Shows the ConMasDesigner application window. A blue callout points from this window to a 'Default Account Definition Permission' dialog box.
- Bottom Interface:** Shows a group management table where permission checkboxes are being set for different operations (参照, 編集, 削除) across various categories.
- Key Components:**
 - Default Account Definition Permission Dialog:** A modal window titled 'Default Account Definition Permission' with tabs for 'Definition' and 'Account'. It contains a grid where checkboxes are being set for operations like '参照', '作成', '編集', and '削除'.
 - ConMasDesigner Application:** A screenshot of the application showing a file tree and a toolbar.
 - Group Management Table:** A table showing group permissions for various operations.

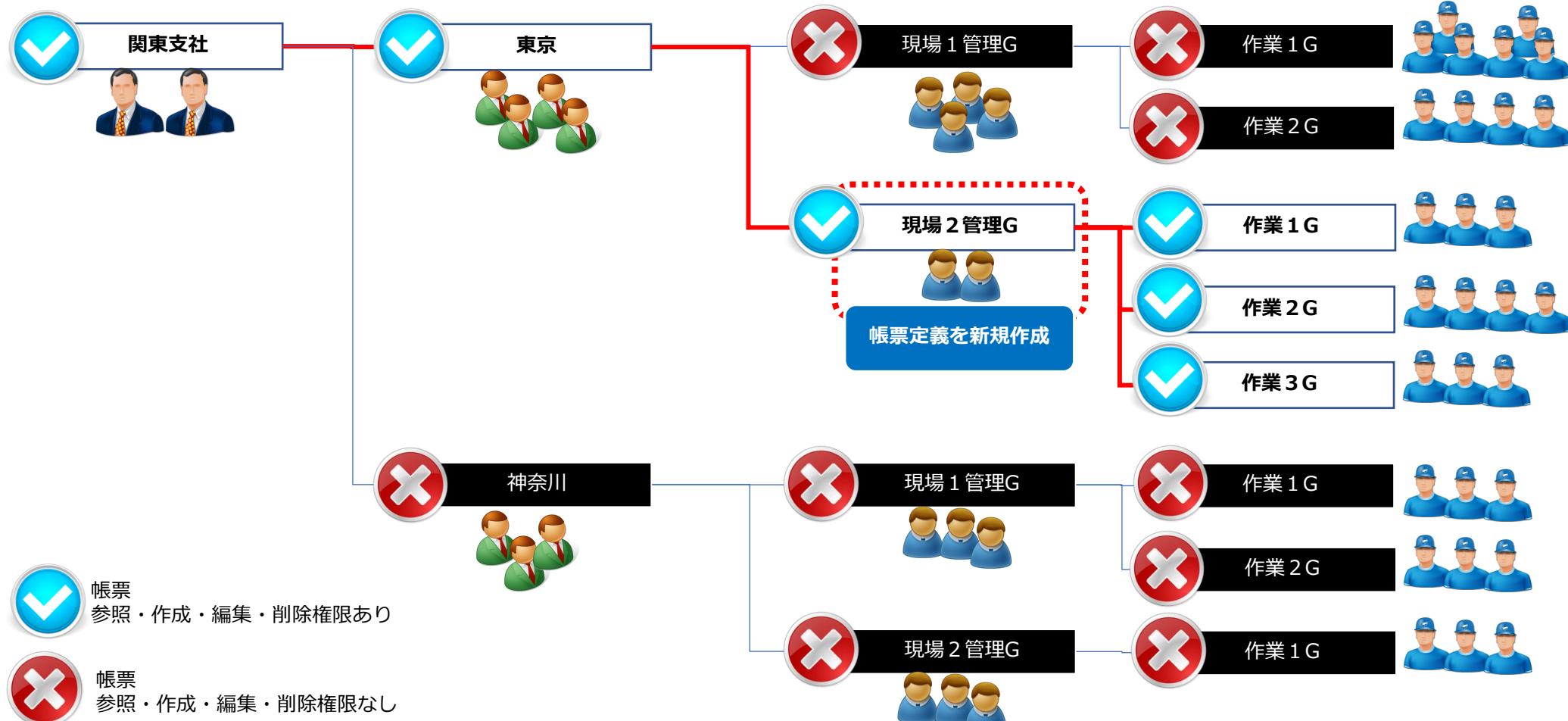
Text Labels:

- 「デフォルト帳票定義権限」にルールを設定しておく
- 帳票定義の新規保存時にデフォルト帳票定義権限の設定内容が自動反映

応用例②：グループ間の「パス」を活用し、操作権限を付与する

グループが所属する「組織の中だけデフォルト帳票定義権限が反映される」設定が可能です。

以下のケースでは、「東京>現場2管理グループ」が新規に帳票定義を公開すると、「デフォルト帳票定義権限」の反映が、このグループと「パス」の設定が行われている上下間の各グループ内に限定させることができます。



応用例②：設定方法

ConMas Managerの「システム管理」>「グループ管理」から行います

The screenshot shows the ConMas Manager interface. At the top, there is a navigation bar with tabs: 帳票定義, 入力帳票, データー出力, 自動帳票作成, ラベル管理, 図書管理, スケジュール, カスタムマスター, カスタムメニュー, システム管理. The システム管理 tab is highlighted with a red dashed box. A red arrow points from this tab to a callout box labeled ① 「システム管理」をクリック.

In the main area, there is a sidebar with categories: システム管理, ユーザー管理, グループ管理, 端末管理, メール通知管理, direct通知管理, 共通マスター管理, 閲覧者登録, インターフェースアップロード, タスク. The グループ管理 item is highlighted with a red dashed box. A red arrow points from this item to a callout box labeled ② 「グループ管理」をクリック.

The central part of the screen shows a grid titled "グループ一覧" (Group List) with columns: ID, グループ名稱. To the right of the grid is a "システム管理" section with several tabs: ユーザー管理, 端末管理, システム設定管理, each with its own set of buttons for 検索, 参照, 作成, 編集, 削除.

A large blue callout box at the bottom left points to the third step: ③ ここで設定 (詳細は次ページ). Below this callout is a detailed configuration window titled "▼Designerにおける帳票定義作成時のユーザーグループ権限の自動設定モード設定". It contains three sections:

- モードの有効・無効: 有効 (checkbox)
- 作成済帳票定義の編集権限: 定義作成ユーザーの所属するグループのみが編集可能 (checkbox)
- iPadでその定義から新規帳票を作成する権限: すべてのユーザーが作成可能 (checkbox)
- iPadで編集中の帳票を参照・編集する権限: 帳票を新規に作成したユーザーの所属するグループと他の同階層グループ、その上位にあるグループのみが参照・編集可能 (checkbox)

応用例②：設定方法（詳細）

前ページからの続き

①	モードの有効・無効	有効
②	権限設定タイプ	自動設定
③	作成済帳票定義の編集権限	定義作成ユーザーの所属するグループと、そのグループの上位のみ
④	タブレットでその定義から新規帳票を作成する権限	すべてのユーザー
⑤	タブレットで編集中の帳票を参照・編集する権限	帳票を新規作成したユーザーの所属するグループと、そのグループの上位・下位階層にあるグループのみが参照・編集可能

① モードの有効・無効

= 「自動設定モード」の有効無効を設定します。

② 権限設定タイプ

= ③以降で作成するルールを適用するか、「デフォルト帳票定義権限」を適用するか指定します。

③ 作成済帳票定義の編集権限

= 作成済の帳票定義をConMas Designerで参照/編集できる権限を、レポートライン内のどこまで付与するか指定します。

④ タブレットでその定義から新規帳票を作成する権限

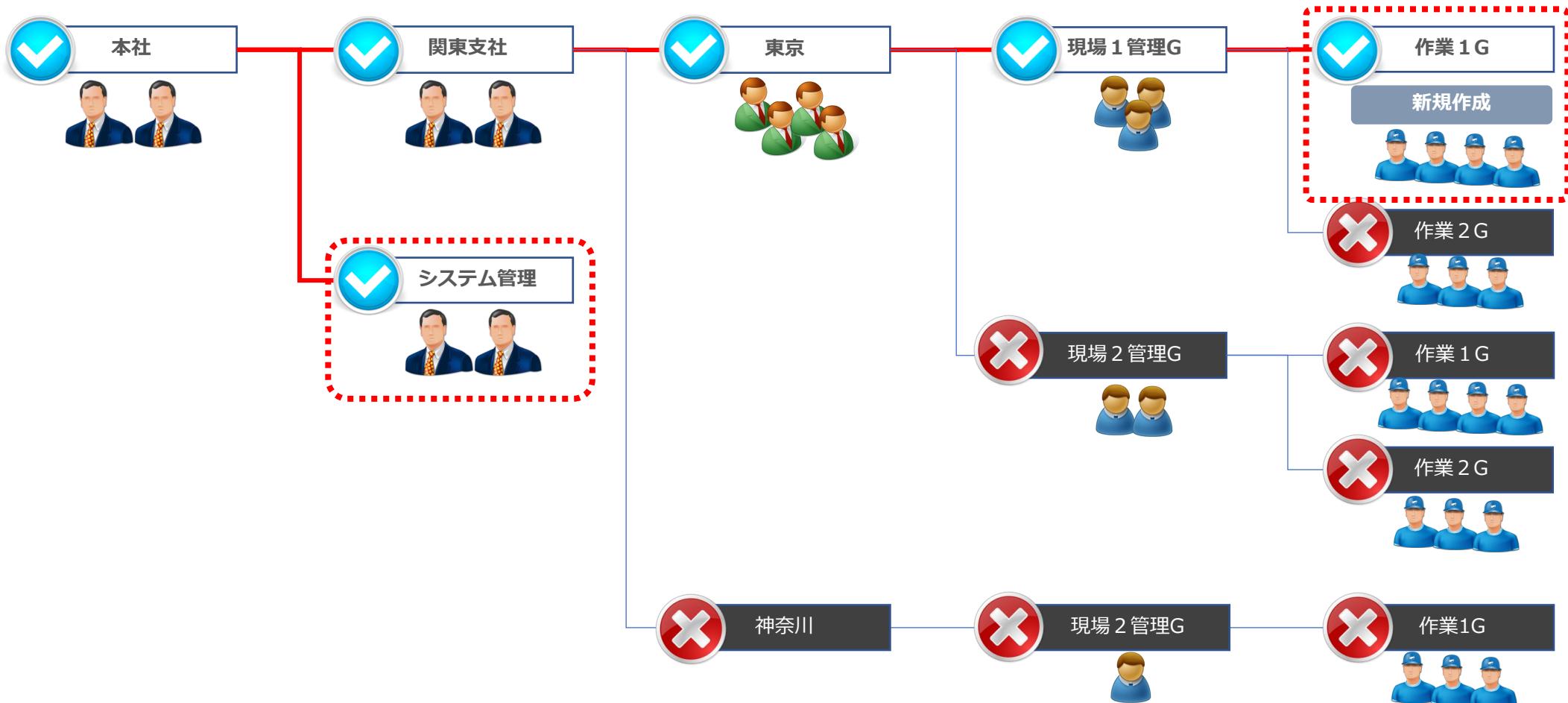
= 新規に入力帳票を作成する操作を、帳票定義を新規登録したグループを含むレポートライン内に制限する事ができます。

⑤ タブレットで編集中の帳票を参照・編集する権限

= 編集保存されている入力帳票に対する参照/編集操作を、新規に入力帳票を起票したグループを含むレポートライン内に制限する事ができます。

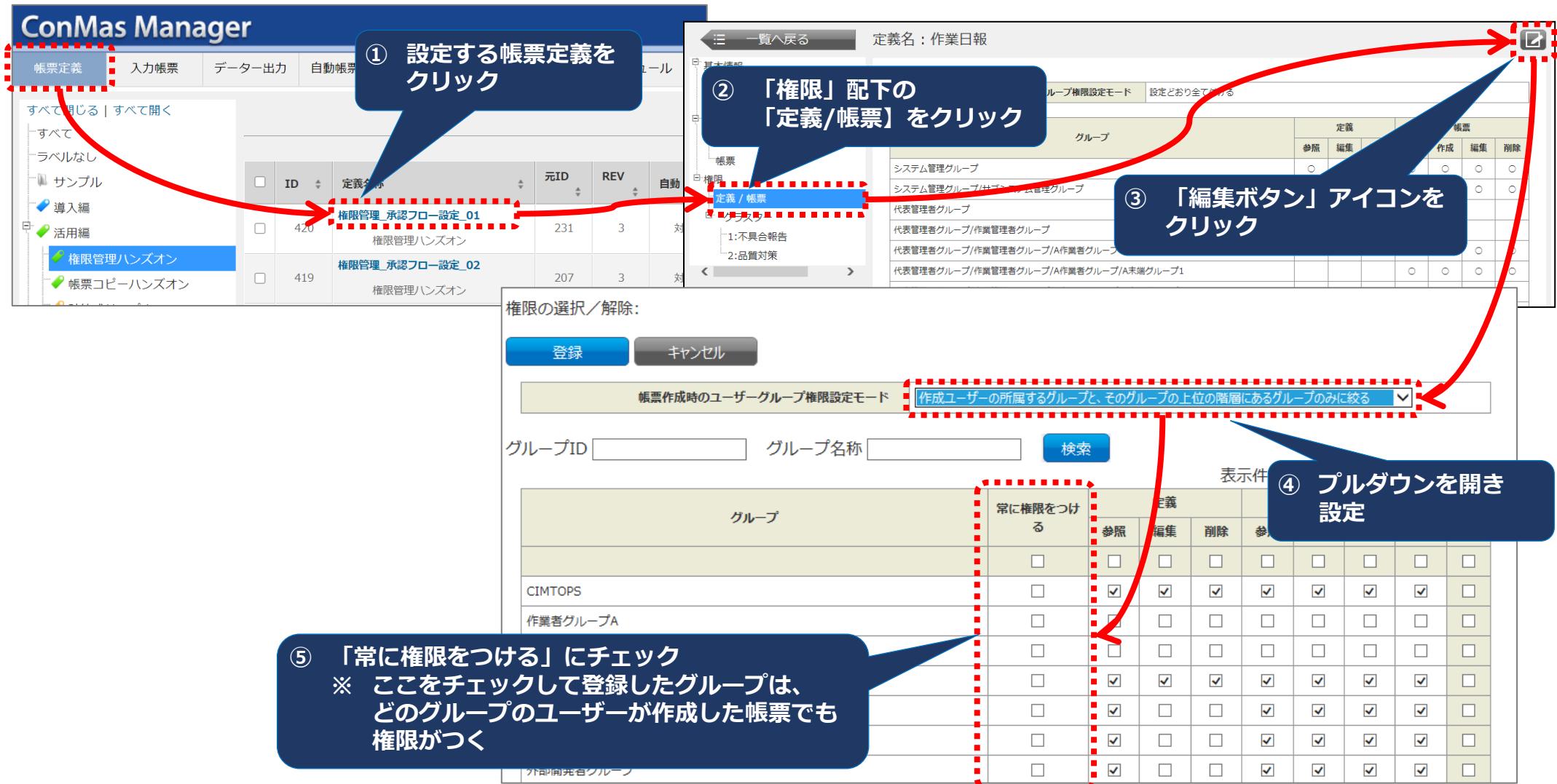
応用例③：レポートラインに拠らず、常に権限を付与する

例えば「作業1G」が属するレポートラインに含まれていない「システム管理」グループが、「作業1G」が新規に作成した帳票定義及び入力帳票に権限を行使できるようにします。



応用例③：レポートラインに拠らず、常に権限を付与する

ConMas Managerの「権限管理」>「権限」>「定義/帳票」から行います



改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2018-07-01	Rev 1.0.0	--	初版を発行しました。
2019-04-15	Rev 1.1.0	--	タイトルを「活用編」に変更しました。
2019-08-01	Rev.1.2.0	--	講習会での説明順に合わせて、全体的な修正を行いました。
2019-10-16	Rev.1.2.1	4	記載内容を変更しました。
2020-03-19	Rev.1.2.2	--	記載内容を変更しました。
2020-11-30	Rev.1.3.0	--	説明文の表現を全体的に見直しました。
2021-05-31	Rev.1.3.1	--	画像を最新化しました。
2021-06-28	Rev.1.3.2	4	関連資料のURLを更新しました。
2022-04-18	Rev.1.4.0	--	わかりやすい表現に見直しを行いました。
2022-10-05	Rev.1.5.0	--	わかりやすい表現に見直しを行いました。
2023-10-10	Rev.1.6.0	--	全体的な説明内容の見直しと、ハンズオンの操作画面を追加しました。